

よなこふどう 米子不動

令和3年2月3日

メンバー：坂野（L）、草田（記）

先週行った上ノ権現沢は、報告の通り雪で沢が埋もれていてちっとも面白くなかったの
で、今週は急遽予定していた黄連谷を取りやめ、米子不動に偵察へ行くことになった。

当初は初日に入山し、3日目の午前中いっぱい登って下山する予定だったが、後述の車
の故障があったので、わざわざ須坂市まで行ったにもかかわらず急遽実質日帰りでの山行
となってしまった。しかし、その割には実りの多い山行だったので、備忘録的な形で報告
したいと思う。

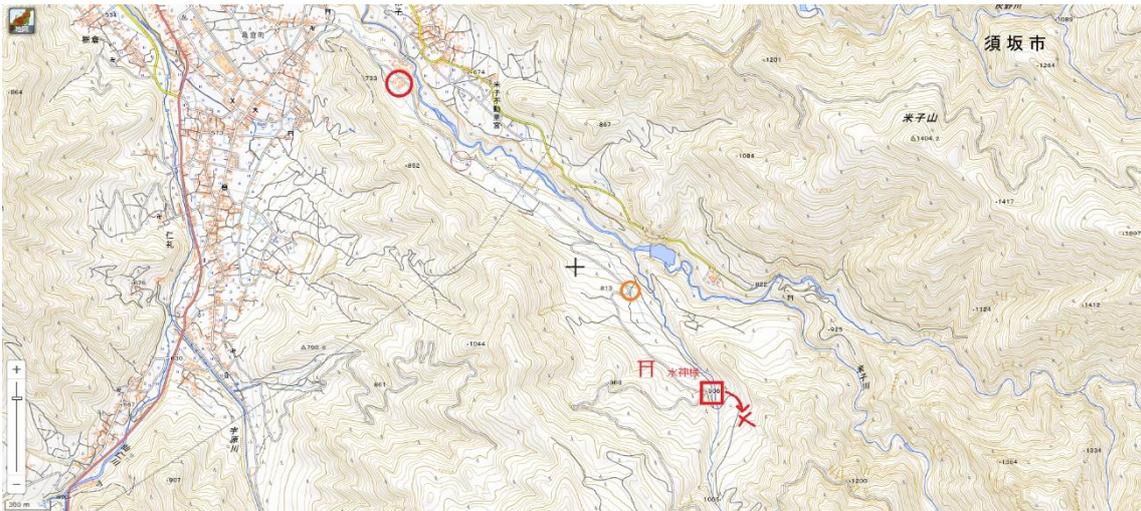
○アクセス

往路は飯田・白樺湖経由の下道で、復路は千曲市・白樺湖・身延経由の下道で帰って来
た。往路は昼飯や食材を買いながら7~8時間程度、復路は深夜の時間帯に移動し、長野
市街から6時間ほどで浜松へ着いた。高速を使えば更なる時間短縮ができ、1泊2日での
山行も十分に可能だろう。

○米子不動への林道

国道406号線からは案内板があるので、それに従って入って行けばよい。現在、林道が
二カ所ほど崩落しているらしく、入口に進入禁止の看板が立てられていたが、奥にきのこ
工場（赤丸）がある関係で車の通れるスペースは十分にある。きのこ工場の奥に廃屋が数
軒（赤細丸）あり、そこを少し進んだ先から雪道になる。ヘアピンカーブを1セット超え
たあたりから雪が深くなり、スタックし始める。なんとか水神様のところまではぶん回し
ながら進んだが、その先の急坂でついに進めなくなり撤退。この際の登りで回転数を上げ
過ぎた為か、スーパーチャージャーに異変が生じ、アイドルリングが安定しなくなる。その
為この日は下山し、翌日オレンジ丸の所へ車を止めて、米子不動へ向かった。

林道は、赤四角の分岐まで車が入った跡があった。分岐は実線も白線もどちらも車が通
れそうだったが、実線の方は通行止めの看板があったので白線の方へ迂回して歩いた。た
だ、帰ってくる際はそちらにもトレースがあったので、歩いて抜けることはできるのだろ
う。距離的にはそれなりにショートカットになると思われる。今回は所によってくるぶし
程度のラッセルであったが、その状態で歩いて2~3時間程度かかったので、どこに車を



止めても片道3時間を見積もっておけば、それを上回ることはないだろう。私たちはだいたい4km/hのペースで歩いた。(荒川出合へ行く際の林道は、5km/hで歩いていることを考えれば、雪が積もっている分だけ少し遅くなっている。)

林道には2km毎に看板があり、残り8kmの表示を過ぎ、残りおよそ7kmの所でこちらにも通行止めのバリケードが設置されていた。手前に広いスペースがあったので、車高の高い四駆だったり、今年ほど雪が積もっていなかったりすれば、そこに車を置けばいいだろう。ただ、歩いてみた限り崩落した場所は(雪で埋もれていた為か)分からなかったので、状況次第では自己責任で奥の駐車場まで行くことも可能かと思われる。(ネットで検索した限り、小雪だった昨年はススキのハスラーで入っているモノが見つかった) まあ、今年の積雪量では不可能だろうが。ちなみに、奥の駐車場ではドコモの電波が入らなかった。

○展望台

米子不動の駐車場からハイキングコースをラッセルしながら小一時間歩くとあずまやがあり、左岸の滝が一望できる。左から権現滝、不動滝、黒滝、(カチカチ山)、正露丸、百草丸。そのスケールは圧巻で、アイスクライミングをしない人が来



↑米子不動の駐車場 うっすらトレースがあった
←「デナリスタイル」と称して、ソリを引いて歩いた。
スリングでつないでザックのウエストベルトで引っ張る。駐車場から展望台までのハイキングコースも何とか歩けた。

ても、最高の景色であると断言できるほどだ。ただ写真で見ると、今年の氷の状態は良くない。カチカチ山は未発達で登れる状態ではないし、不動滝も黒い水が流れているのが展望台から見ても分かったほどだった。日本全体では寒波に見舞われたシーズンではあったが、須坂市ではそこまでではなかったのだろう。



A から順に、権現滝（登攀禁止）、不動滝（登攀禁止）、黒滝、カチカチ山、正露丸、百草丸
黒滝は細く、カチカチ山は未発達。正直どれも登れる状態ではない。

○十八幅滝

まあ仮に例年通り発達していても、今の技術ではとても登れるとも思えない滝々だったので、林道を歩いて奇妙の滝へ。トレースのない林道を下ると奇妙の滝の折れた案内板が現れる。遊歩道を歩けば、奇妙の滝へ。途中で左へ折れると、十八幅滝へ。まずは十八幅滝を昼頃から登り始めた。



←奇妙の滝V - 十八幅滝V→



リーダーがリードを薦めてきたので、今回もリードで登らせてもらう。アイススクリューは10本携帯。結局全て使用した。序盤はバーティカル気味だが、滝の右側はステミングできたので、足を駆使して登る。その後中盤で傾斜が緩やかな部分を左側へトラバース気味に登っていき、最後は右岸を直登。1Pで行けたが、60m ロープいっぱいだった。アックステンション（ファイフ）多用。残り15mくらいから傾斜が再びキツくなったうえ、体力的にも厳しく、ペースダウンしてしまった。また落ち口は凍りが甘く、薄い。スクリューでの確保も難しいので慎重に。登攀時間はおよそ2時間15分。左岸にニカ

所スリングがあるので、氷具合によってどちらかを使えばいいだろう。今回は奥を使った。尚リーダーはセカンドとはいえ僅か1時間弱で登ってきた。



Gから順に、味とも、龍神、アナコンダ、コブラ
こちらも登れる状態ではない

当初は奇妙の滝も登る予定だったが、私のリードがもたついた上に、なんやかんやで15時も大分回ってしまったので、今回は諦めて下山することに。帰りは林道（白線）経由で帰って行ったが、途中から見えたアナコンダとコブラの状態も悪かった。アナコンダは非常に貧相だし、コブラに至っては繋がってすらいな

い。腕を上げて、胸を張ってあそこへ登りに行ける日が来るよう、今後も日々精進したいと思う。

○湯っ蔵んど

米子不動の林道入口から5分も走らせれば、温泉施設「湯っ蔵んど」に着く。20時まで入館でき、21時まで営業している。料金は600円（17時以降400円）。ここは飯が非常に良く、名物のみそすき丼の他、ピザ窯で焼くオリジナルピザなど、バラエティ豊富で何度でも行きたくなるほど良かった。特製のジェラート屋もあるので、夏ならばジェラートも食べたい。

コースタイム

6:45 オレンジ丸 → 9:00 駐車場 9:10 →
10:10 展望台 10:30 → 11:00 奇妙の滝入口 →
12:00 十八幅滝登攀開始 → 15:40 懸垂下降終了 → 16:30 下山開始 → 19:30 オレンジ丸



野沢菜と山葵ソースのピザ
旨かった 税込 1000円

